1　生徒指導全体計画

教育目標

人のお世話にならぬよう
人のお世話をするよう
そして，むくいをもとめぬよう

目指す子ども像

・基本的な生活習慣を身に付ける子ども
・善悪の判断ができ，自ら判断し，自己決定できる子ども
・友だちを思いやり，みんなと仲良く活動できる子ども

子どもの実態

・明るく素直で人懐っこい子どもが多い。
・「８つの生活にチャレンジ」により，基本的な生活習慣が全体的に定着してきている。
・学校のルールをきちんと守らない子どもも若干見られる。
・自分の思いを適切に表現する力が全体的に弱い。
・個性的な子どもを排除したり，欠点を指摘し合ったりする傾向がある。
・自己中心的な考えの子どもや多数意見に流される子どもが多く，正しいことを追求しようとする集団に育っていない傾向が見られる。

生徒指導の基本方針

・いじめや不登校のない学校づくりをする。
・自己有能感・自己有用感を高め，一人一人を生かす学年・学級経営をする。

生徒指導の重点

①　基本的な生活習慣を身に付けさせる。
②　生活意欲，自信，喜びをもたせる。
③　一人一人のよさを認め合い，支え合う集団を育てる。
④　家庭や地域・教育関係諸機関と連携しあう。

各教科・領域における指導方針

各教科		・意欲的に学習に取り組む態度の育成のために，各教科の重点を明確にする。 ・学習条件を整備し，自ら学び取ろうとする主体的な学習方法を体得させる。
道徳		・道徳の時間は，豊かな心情を養う場とし，正しい判断力や価値観が身に付くようにする。 ・日常生活の場に生かせる実践への意欲的態度を身に付けさせる。
総合的な学習の時間		・自分で課題を見付け，その解決を目指した調査・体験活動を通して，探求して物事を知る喜びを味わわせる。 ・ゲストティーチャー等との触れ合いから，多様な生き方を知り自分の行動を振り返る機会をつくる。
特別活動	学級活動	・教師と児童及び児童相互の関係が信頼で支えられるように配慮する。 ・児童の個性を尊重し，誰もが活躍できる場を保証する。
	学校行事	・学習成果の総合的な発展を図る行事への参加を通して，村上小学校の一員としての所属感を深めさせ，集団活動における望ましい態度を育てる。
	児童会活動	・自治的・自発的な活動を通して，一人一人が自分たちの学校生活を充実，向上させようとする態度を養う。
	クラブ活動	・一人一人の能力・特性が十分に発揮できる場とし，自己実現の喜びを体得できるようにする。

生活指導部の経営計画

校内・校外	○　「月の生活のめあて」を設定し，子どもに生活意欲と自信と喜びをもたせる。 ○　基本的な生活習慣の定着に努める。 ○　エンカウンター，ソーシャルスキルを取り入れ，友達とより良くかかわる方法を学ばせる。 ○　長期休業前の指導を行い，市内巡視を行う。 ○　「落とし物箱」を設置し，自分の物を大切にする気持ちを育てる。
家庭や地域との連携	○「８つの生活にチャレンジ」を継続し，基本的生活習慣の定着を図る。（月の生活目標に取り入れる） ○　児童会やＰＴＡと連携して挨拶運動を展開する。 ○　生徒指導部通信「すこやか」を発行する。
安全指導	○　登下校時の事故の未然防止に努める。 ・登下校の歩行指導や危険個所を把握する ・毎月１０日に職員による安全点検をする ○　地震発生時の対応を指導する。
町内子供会	○　登校班で安全に通学できるようにさせる。 ○　町内の危険箇所や危険な遊びについて考えさせ，安全に配慮した生活ができるようにさせる。
祭り	○　安全に村上大祭・七夕に参加させ，郷土に対する誇りをもたせる。
教育相談	○　子どもの健全な成長の支援や問題解決へ向けて，保護者や担任などから教育相談を受ける。 ○　児童理解の研修会を実施し，児童や保護者に対する見方,関わり方を研修していく。
いじめ不登校対策委員会	○　いじめや不登校のない学校づくりのために，情報を収集し，防止と対処について審議する。 ○　委員が役割分担し，家庭や地域・教育関係諸機関と連携し，子どもの健全育成に努める。